

3年福祉保育コース「介護過程」（選択科目）多職種の外部講師から学ぶ

令和4年10月6日（木）5時間目

## 医師による講座

医療法人 一路会 太田病院 院長 石川 主税 様（学校医）

講座では、医師の役割、高齢者の人口の推移や国の施策、貴所独自の取り組みからお話してくださいました。介護保険制度が始まる前は、介護が必要な方に向け、医療保険でサービスを提供していたことや、当時は看護師が体位交換やおむつ交換などの介護を行い、看護助手が看護師のお手伝いをしていたこと、介護保険制度が始まってからは、病院や施設、職種の役割が分かれ、介護の専門性が確立されてきたという教科書には載っていない内容を学ぶことができました。その間、太田病院では介護保険制度が始まる前からデイサービスを行い、バスで地域のデイサービスを必要とする方のサービスを始めたこと、介護保険制度が始まり、近隣でデイサービスが広まった後は、介護保険を利用した入院病床を整備する取り組みをされてきたことを知ることができました。

また、全国的に広がる地域包括ケアシステムについてもお話してください、地域包括ケアシステムの中心に高齢者を位置づけ、どの環境においても介護が携わる場があること、介護福祉士は幅広い活躍の場があることを改めて学ぶことができました。また、地域包括ケアシステムを実施するために、必要な情報を共有することや高齢者が住み慣れた地域で在宅生活を継続できるよう、かかりつけ医や高度医療施設と連携をとり、ケアマネージャーと連携していく取り組みを行っていく必要があることが分かりました。ご指導、ありがとうございました。

